

防災型・緩勾配型

淡路いごい

四天王

いごいのう

瓦と瓦が相互を押しさえこむ、  
ダブルロックシステムにより、  
耐風・耐震力・防水性がさらにアップ。



淡路いごー  
四天王

防災型・緩勾配型

し て ん の い

ダブルロックシステム 究極の防水構造

新究極の四枚重ね瓦

し て ん の い  
四天王

- 建築基準法告示1454(風速)及び、1458(構造)に示す規定の基準最大風速46m/sに合格し、またそれ以上の耐久力があることを確認しました。(地上高さ10mの実験換算値です。)

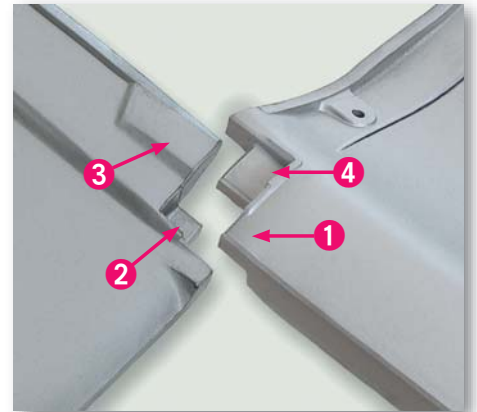
※上記数値は耐風性能確認試験によって得られた実験値です。

実験データの詳細および、試験成績表をご利用の方は、お問い合わせ下さい。

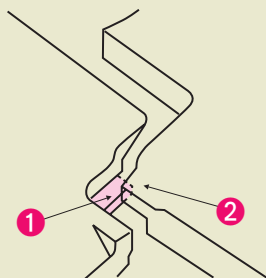
## ■ダブルロックシステム

他社には無い、  
ダブルロック構造!

四天王の構造は、下のイラスト及び右の写真の図のように、①が②を、③が④を相互に押さえるダブルロックシステム。耐風・耐震・防水性すべてに於いてパワーアップした新究極の四枚重ね瓦です。

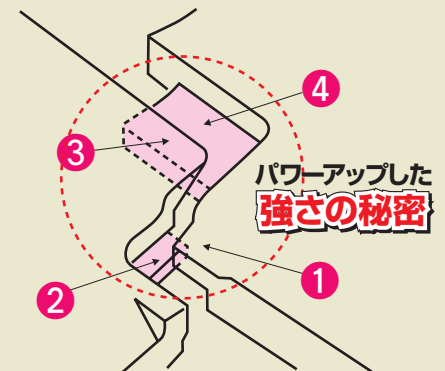


### ■普通の防災瓦



①の部分を②が押さえこむことで、耐風力がアップする。

### ■新究極のダブルロックシステム



①の部分が②を押さえ、さらに③の部分が④を押さえ、ダブルロックによって、従来の防災瓦を大幅に上回るパワーがつけました。

## 緩勾配瓦

耐風

耐震

防水性

### ■究極の防水構造(二段水切り)

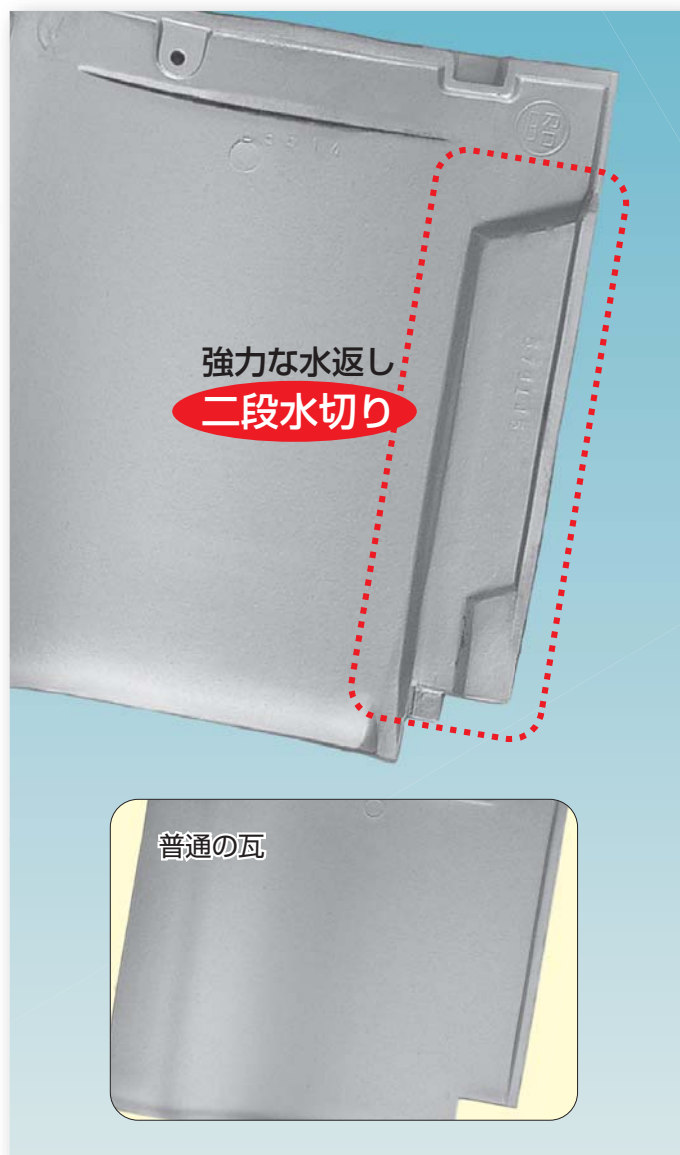
四天王の水返し部は、従来の瓦より高いため、雨漏りをシャットアウト。

さらに、二段構えの水返しにより、万全の防水効果を発揮します。

### 耐久性

古来より屋根材としてのいぶし瓦は、永年にわたり耐久性を発揮し、建築物を守ってきました。

現在のいぶし瓦は、さらに改良が加えられ、100年以上の耐久性ともいわれる程、格段の向上が見られています。



## 屋根のリフォーム

屋根が新しくなると、家はさらに長寿命!

リフォーム上手

### 5つのリフォームの技術

- A 耐風・耐震・防水性に圧倒的な強さを発揮します。
- B 断熱性や遮音性に優れているため、室内環境が快適です。
- C 色アセや色落ちが少なくぬり替え不要、いつまでも美しい屋根を維持します。
- D 緩勾配の屋根でも問題なく、多彩な屋根形状に対応できます。
- E 耐久性、堅牢性が高く機能的なため、屋根の部分的補修も容易で経済的です。

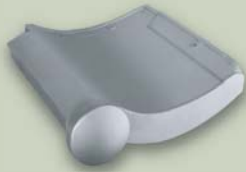


# VARIATION

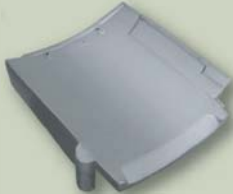
## 役物瓦



■地瓦



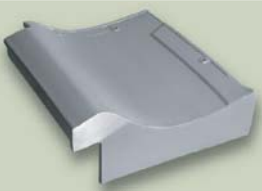
■台付万十



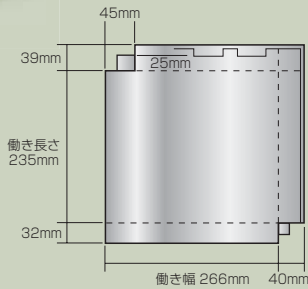
■左袖



■右袖



■一文字

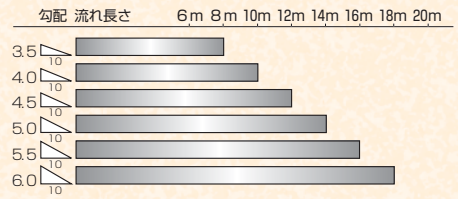


※印刷インクの性質上、実際の色とは異なって見える事がありますので、あらかじめご了承下さい。

## 製品仕様

寸法	全長306mm(±2mm)	全幅306(±2mm)
働き寸法	長さ	235mm(±2mm)
	幅	266mm(±2mm)
葺き枚数	53枚/3.3㎡	
重量	2.8kg/1枚	

## ●四天王の標準屋根勾配と流れ長さ

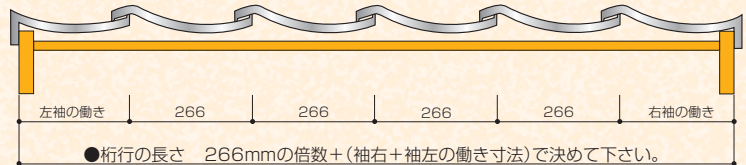


※この性能値は、保証値ではありません。強風、雨量など地域性や施工物件(高さ・構造etc.)に応じて適切に対応して下さい。

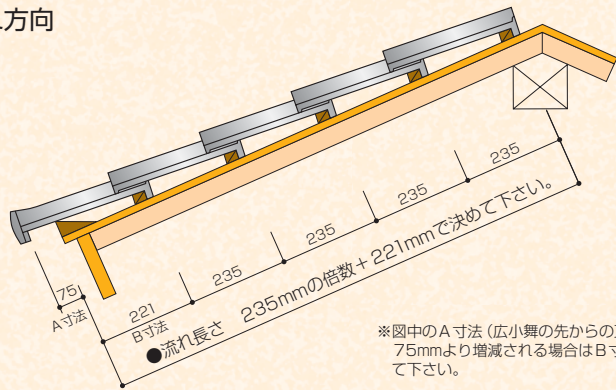
## ■割付寸法

[野地の瓦割り付け]

### ●桁行き方向



### ●流れ方向



※図中のA寸法(広小舞の先からの瓦の出)が75mmより増減される場合はB寸法で±して下さい。

## ■特約店

## ■製品に関するお願い

- 天然原料の粘土を使った自然素材である焼成瓦特有の色ムラが発生する場合があります。
- 日焼けによる色あせや、ホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根瓦としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- いぶし瓦は粘土に含まれる鉄分が瓦表面にある場合、雨水により点状の赤錆が発生する場合がありますが、これは品質的な劣化ではなく、表面層での一時的な現象であり、拡大したり、また内部に進行するものではありません。
- 改良のため、仕様・外観は予告なく変更する場合がありますので、ご了承下さい。

## ■ISO9001認証登録



日本工業規格認定工場 (三原・新島・西淡)

**昭和窯業株式会社**

URL: <http://www.showa-rooftile.co.jp> E-mail: [info@showa-rooftile.co.jp](mailto:info@showa-rooftile.co.jp)

本社 〒656-0304 兵庫県南あわじ市松帆古津路645  
 三重営業所 〒519-0103 三重県亀山市川合町上椎木1452-22  
 九州営業所 〒811-2413 福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲字椿584-3  
 大分営業所 〒875-0034 大分県白杵市板知屋字大寺浦1257-1  
 宮崎営業所 〒880-1103 宮崎県東諸県郡国富町大字嵐田字榎瀬57-1  
 佐世保営業所 〒859-3727 長崎県東彼杵郡波佐見町皿山郷521-1  
 香川営業所 〒762-0053 香川県坂出市西大浜北4-1-43  
 松山営業所 〒791-8036 愛媛県松山市高岡町47-1  
 工場 本社・三原・新島・西淡・松原

TEL.0799-36-2280(代) FAX.0799-36-3390  
 TEL.0595-83-3525 FAX.0595-83-3526  
 TEL.092-947-4437 FAX.092-947-4438  
 TEL.0972-63-0488 FAX.0972-63-0488  
 TEL.0985-75-4188 FAX.0985-75-5638  
 TEL.0956-85-7827 FAX.0956-85-7871  
 TEL.0877-44-3607 FAX.0877-45-9787  
 TEL.089-974-8856 FAX.089-974-8857

## ▲警告

- 屋根の上には乗らないでください。  
落下してケガをするおそれがあります。

## ▲注意

- 瓦屋根の上には物を乗せないでください。  
瓦屋根の上に物をのせると荷重による破損、器物の落下のおそれと雨漏りの原因になることがあります。  
アンテナ・太陽熱温水器などの設置工事の場合には、必ず専門の工事業者に依頼して下さい。

- 「瓦屋根施工標準ガイドライン」を必ず参照して下さい。  
(全瓦連・全陶連平成13年度発行)